はじめに

数あるスピーカーの中から GENELEC SAM™（Smart Active Monitoring）システムをお選びくださり誠にありがとうございます．8320A と 8330A は要求の厳しいプロフェッショナル用途向けに開発された 2 ウェイのスマート・アクティブ・モニターです．

各スマート・アクティブ・モニターに組み込まれた DSP は GLM™（Genelec Loudspeaker Manager）ソフトウェアと相俟って，突出した音響品質，使い易さ，そしてたとえ良くない音響環境でも高いモニタリング精度をお届けします．高性能ドライバーは専用の Class D パワー・アンプに直接接続されています．システム保護は SAM 信号処理の一部として実装されています．

MDE™（Minimum Diffraction Enclosure：最小回折筐体）はアルミダイキャスト製で，エッジ部の音響回折を低減するような形状に作られています．この設計方式を DCW™（Directivity Control Waveguide：指向性制御ウェーブガイド）と組み合わせることで優れてニュートラルな音質が実現されています．

付属品

電源コード 1 本，5 m の RJ45 ケーブル 1 本，取扱説明書 1 冊が付属します．

接続

接続を行う前に本機ならびに信号源の電源を切ってください．接続の完了後に電源を入れてください．

電源

電源スイッチは背面にあります（図 2 参照）．本機は同梱の電源コードを用いてアース接続のあるコンセントに接続してください（アースされていないコンセントに接続しないでください）．本機は AC 100-240 V（50/60 Hz）の電源電圧に接続できます．

GLM ネットワーク接続

システム内の本機とサブウーファーは GLM アダプターを使ってコンピューターに接続されます．このために RJ45 ケーブル 1 本が同梱されています．GLM アダプターからのコントロール・ネットワーク・ケーブルを 1 台目のモニターに接続することから始めて，すべてのモニターとサブウーファーをディジーチェーン接続してください（図 3 参照）．特別な順番はありません．

アナログ音声入力

バランス式のオス XLR コネクターを接続してください．

デジタル音声入力

8330A のデジタル音声入力（DIGITAL IN）には AES/EBU フォーマットのデジタル音声信号を伝送するオス XLR コネクターを接続してください．デジタル音声は XLR 出力（DIGITAL OUT）から，別の SAM モニター・スピーカー / サブウーファーに接続できます．AES/EBU 音声信号のサブフレーム A/B は GLM ソフトウェアを使って選択します．

設定と音響キャリブレーション

本機は部屋の音響的な影響を極めて柔軟に補正し，GLM ユーザー・キット / ソフトウェアを使った自動セットアップをサポートしています．本機は GLM 2.0 及びそれ以降のバージョンとの互換性があります．GLM ソフトウェアは GENELEC 社のウェブサイト（www.genelec.com/glm）またはオタリテック株式会社のウェブサイトからダウンロードできます．セットアップには GLM 2.0 ユーザー・キットが必要です．ユーザー・キットには GLM アダプターと GLM 専用測定マイクが含まれます．

GLM アダプターはコンピューターの USB ポートと GLM ネットワークに接続し，GLM 専用測定マイクはリスニング位置に配置します．GLM ソフトウェアの設定手順を実行して本機とサブウーファーをひとつのシステムとして調整してください．キャリブレーション後は，設定を保つためにコンピューターを接続したままにするか，GLM ソフトウェアを使って設定を本機内のメモリーに保存してください．

ISS™ オートスタート機能

ISS™（Intelligent Signal Sensing）は 0.5 W 未満という極めて低い待機電力を実現します．工場出荷時の設定では ISS 機能は停止しています．ISS 機能は GLM ソフトウェアの ISS Power Saving プルダウン・メニューをクリックすることで動作します．このメニューでは待機状態に入るまでの時間の長さを選ぶこともできます．本機の動作は入力信号が検出されるとすぐに回復します．再生が再開されるまでわずかですが遅延があります．

設置に関する注意事項

- **向きを正しく：**音響軸がリスニング・ポジションを向くように本機を配置します（図 1 参照）．リスナーが水平方向に移動したときのクロスオーバー周波数周辺での音色変化が少なくなりますので縦置きをお薦めします．
- **左右対称を保つ：**本機をリスニング・ポジションから等距離かつ両側の壁に対して対称になるように配置します．リスニング・ポジションは部屋の前後の中心線上に置き，この中心線から等距離になるように本機を置きます．
- **音反射を最小にする：**本機に近いもの（机や棚や PC モニター等）からの音反射がカラーレーションや音像のにじみを発生させる可能性があります．これらは本機を反射性の表面から放して設置すれば最小限に低減できます．
- **隙間を確保する：**アンプが冷却されるように，またバスレフ・ポートが確実に機能するように適切な隙間を確保してください．本機の周囲は背後と上と両側に最小 30 mm の隙間を保ち，必ずリスニング・ルームに対して開放されている必要があります．周囲温度が 35℃を越えないようにしてください．

設置方法の選択肢

本機の設置方法は何通りかあります：Iso-Pod™（Isolation Positioner/Decoupler）を使えば本機を傾けて音響軸調整ができます．本機底面には標準的なマイク・スタンドとの互換性がある 3/8 インチの UNC ネジ穴が 1 個あります．背面には壁面または天井取付金具用に M6 × 10 mm のネジ穴が 2 個あります．GENELEC では様々な取付用のアクセサリーをご用意しています．オプションに関して詳しくはアクセサリー・カタログをご覧ください．

保守

本機内にはユーザーが保守できる部品はありません．本機の保守や修理は資格のあるサービス要員にお任せください．

安全に関する注意事項

本機は世界的な安全規格に従って設計されていますが，安全な動作を確実にするため，また本機を安全な使用条件下に保つためにも以下の注意事項はお守りください：

- 保守や調整は資格のあるサービスマンが行ってください．本機を分解しないでください．
- 電気的な安全性が損なわれかねませんので，未アースの電源コードや未アースの電源接続と共に本機を使わないでください．
- 本機を水や湿気にさらさないでください．液体の入った容器（花瓶等）を本機の上や近くに置かないでください．
- 本機は恒久的な聴覚障害を引き起こす可能性のある 85 dB を超える音圧レベルを再生することができますのでご注意ください．
- 十分な冷却を保つために本機背面には空気が自由に流れることが必要です．本機周囲の空気の流れを妨げないでください．
- 電源コードをアンプまたは電源コンセントから抜かないかぎりアンプは AC 電源から完全には切り離されません．

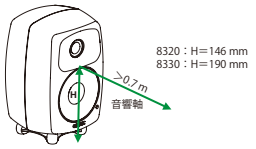

図 1　音響軸の位置

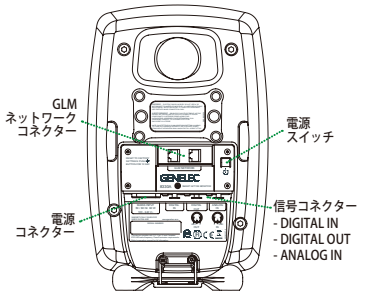

図 2　8330A 背面のコントロール類とコネクターの配置．8320A はアナログ入力のみ．GLM ネットワーク・コネクターは音声入力の隣に下向きに取付．

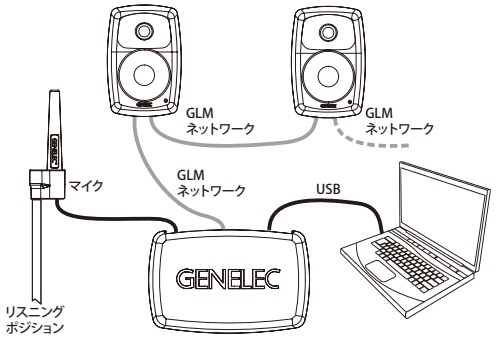

図 3　GLM ネットワーク・アダプターの配線．音声ケーブル接続は省略．

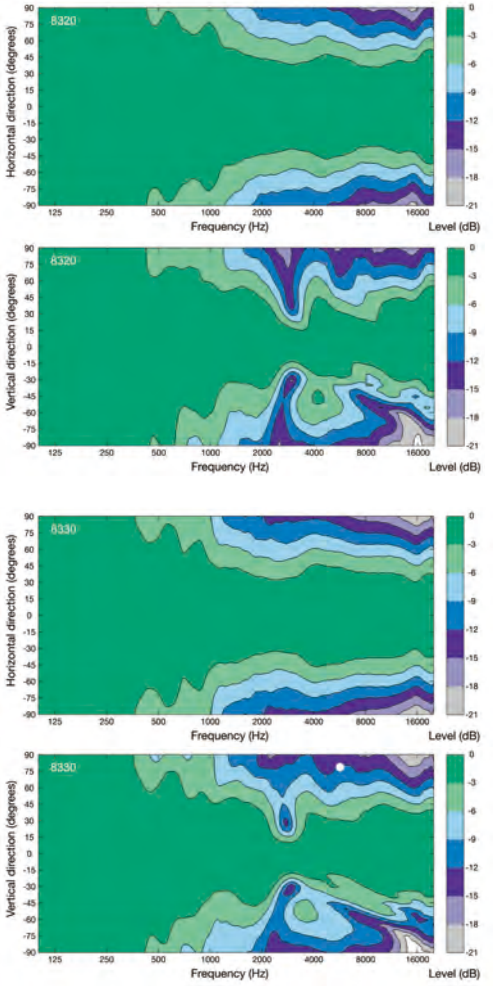

図 4　8320A の 8330A 水平および垂直指向性プロット．

D0116R001J

8320A
8330A

Operating Manual
GENELEC 8320A and 8330A
Active Monitoring System

GENELEC®

システム仕様

Model	8320	8330
周波数範囲（-6 dB）	55 Hz ～ 23 kHz	45 Hz ～ 23 kHz
周波数特性の精度	± 1.5 dB（66 Hz ～ 20 kHz）	± 1.5 dB（58 Hz ～ 20 kHz）
最大瞬間正弦波音響出力 （ハーフ・スペース内の軸上，100 Hz ～ 3 kHz の範囲内で平均）	＞ 100 dB SPL	＞ 104 dB SPL
最大連続 RMS 音響出力 （IEC 重み付けノイズと同条件．ドライバー・ユニット保護回路にて制限）	＞ 94 dB SPL	＞ 96 dB SPL
最大ピーク音響出力（1 ペア，1 m 距離，音楽素材使用）	＞ 107 dB	＞ 110 dB
残留ノイズ・レベル（フリー・フィールド内の軸上）	＜ 5 dB（A-WTD）	
高調波歪（85 dB SPL，軸上）	50 ～ 200 Hz ＜ 3 %，＞ 200 Hz ＜ 0.5 %	50 ～ 100 Hz ＜ 2 %，＞ 100 Hz ＜ 0.5 %
ドライバー（防磁式）　ウーファー／ツイーター	105 mm コーン／ 19 mm メタル・ドーム	130 mm コーン／ 19 mm メタル・ドーム
寸法（高さ（Iso-Pod™ 無し高さ）×幅×奥行き），重量	242（230）× 151 × 142 mm，3.2 kg	299（285）× 189 × 178 mm，5.5 kg
瞬間出力パワー（低音用アンプ／高音用アンプ）	50 W ／ 50 W	
THD（定格出力時）	＜ 0.05%	
電源電圧	AC 100-240 V，50/60 Hz	
消費電力（ISS 動作時，無信号時，最大出力時）	＜ 0.5 W，3.0 W，50 W	
デジタル AES/EBU 音声信号入力コネクター（Single wire）	——	IN ＝メス XLR，OUT ＝オス XLR
入力ワード長／入力サンプリング・レート	——	16 ～ 24 ビット／ 32 ～ 192 kHz
クロスオーバー周波数	2.9 kHz	
アナログ入力（負荷インピーダンス）	メス XLR（10 k Ω，バランス式）	
1 m 距離で 100 dB SPL 出力を得るアナログ入力レベル	-6 dBu（GLM ソフトウェア内で調整可能）	
最大アナログ入力レベル	24 dBu	
GLM コントロール・ネットワーク・コネクター	2 × RJ45	

品質保証

本機は購入後 2 年以内に製造上の問題が原因で故障した場合は無償修理いたします．修理等については購入された販売店かオタリテック株式会社にお問い合わせください．

オタリテック修理窓口：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-30-16
オタリテック株式会社　技術部サービス課
TEL 03-6457-6022 ／ FAX 03-5285-5282（電話受付時間　営業日 9:00 ～ 18:00）
ウェブサイトからのお問い合わせ：http://www.otaritec.co.jp/contact/index.html

修理依頼時の確認事項

1. 型番：8320A（ハチサンニイゼロエー），8330A（ハチサンサンゼロエー）
2. シリアル番号（本体背面に表示）
3. 購入年月日 / 製品登録カードの有無
4. お買い上げの販売店名
5. ご使用時の電源電圧
6. 故障の症状

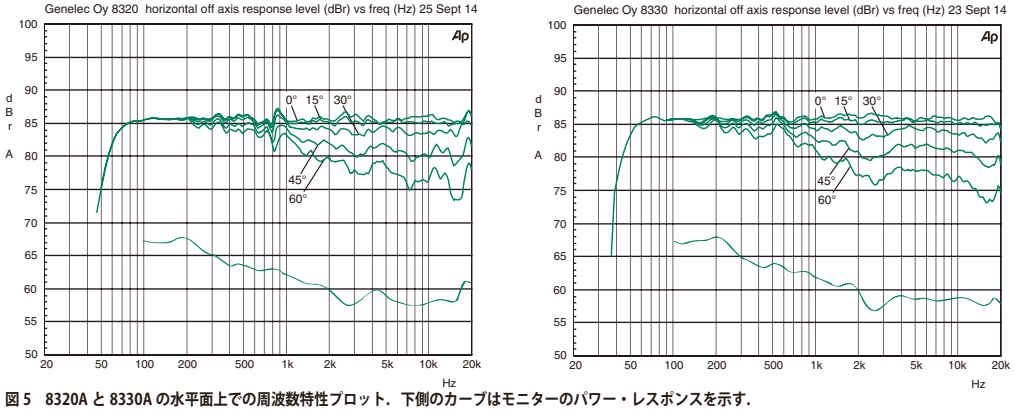
Genelec Oy 8320 horizontal off axis response level (dBr) vs freq (Hz) 25 Sept 14
Genelec Oy 8330 horizontal off axis response level (dBr) vs freq (Hz) 23 Sept 14
dBr A
Hz
0° 15° 30° 45° 60°

図 5　8320A と 8330A の水平面上での周波数特性プロット．下側のカーブはモニターのパワー・レスポンスを示す．

この取扱説明書はフィンランド GENELEC 社の許諾を受け，オタリテック株式会社が英語版 "8320A/8330A Operating Manual"（2014 年 11 月）を翻訳・編集したものです．当社の許可無く複製すること，及び取扱説明書本来の目的と異なる用途に使用することを禁止します．
Japanese translation ©2015 Otaritec Corp.

GENELEC 日本総代理店 オタリテック株式会社
〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-30-16
TEL 03-6457-6021 ／ FAX 03-5285-5281　www.otaritec.co.jp

オタリテック株式会社

2015-03